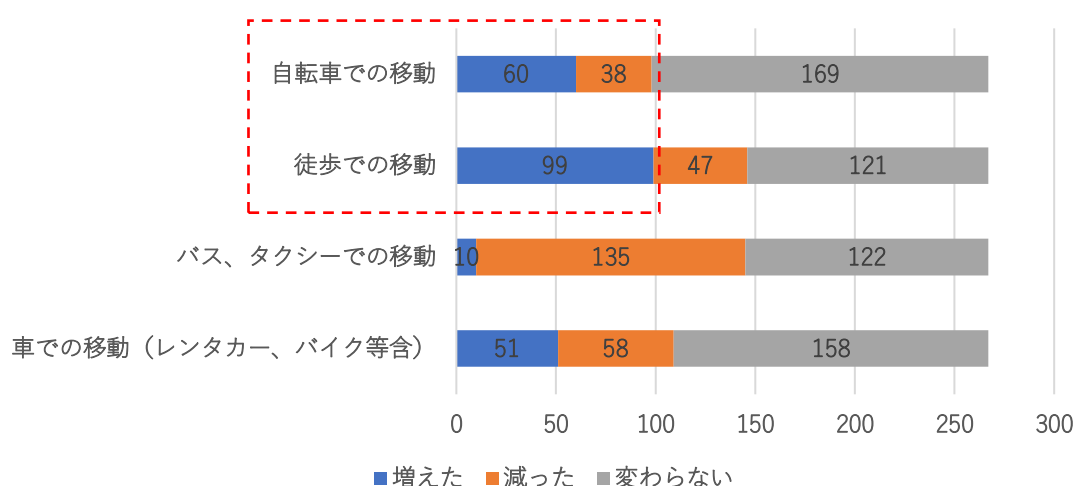


**販売開始 2 週間で売上 400 万円を突破した
自転車用スマホスタンド「Loop Mount」調べ**
「電車利用減ユーザー」の移動増加 1 位が「徒歩」、2 位が「自転車」
自転車利用の 56% は交通ルールを守っていない傾向

国内総合代理店を務める輸入商社株式会社 Cycle（代表：飯田 航、本社：東京都豊島区、以下 Cycle、旧：A-Trade 合同会社）は、2021 年 3 月 10 日（水）から 3 月 11 日（木）にかけて、一都三県の 20 代から 50 代男女 600 人に対して「コロナ禍による自転車利用実態調査」に関するインターネット調査を実施、その結果をご報告します。調査には、株式会社クロス・マーケティンググループのアンケートパネル「QiQUMO（キクモ）」を利用しています。

電車移動が減った人の移動手段

N = 267



■電車移動が減った人の移動手段 1 位は「徒歩」で 37%、2 位は「自転車」で 23%

一都三県に住む 20 代から 50 代の 600 名（各世代 150 人ずつ）に対して、「移動手段について質問です。コロナ禍の移動について、何が増えたか、減ったか」という問いに対して、「減った」と答えた 1 位が「電車での移動」で 267 人、2 位が「バス、タクシーでの移動」で 178 人、3 位が「車での移動（レンタカー、バイク等含）」で 85 人、4 位が「自転車での移動」で 57 人、5 位が「徒歩での移動」で 55 人という結果となりました。そこで 1 位となった「電車での移動」267 人に対して、移動手段がどう変化するかを絞り込みしたところ、「徒歩での移動」が増えたと回答したのが 99 人、37.1%で 1 位、続いて「自転車での移動」が増えた 60 人、22.5%で 2 位という結果となりました。また「バス、タクシーでの移動」が減ったと回答しているのが約半数に当たる 135 人に上り、電車で移動していたエリアを徒歩、あるいは自転車で移動する人が 2 割から 4 割増加し、5 割の方はバスやタクシーのような公共の移動も遠慮している傾向となりました。

「テレワークの影響で出勤がそもそも減ったことにより、運動不足解消からか歩いたり、自転車に乗っ

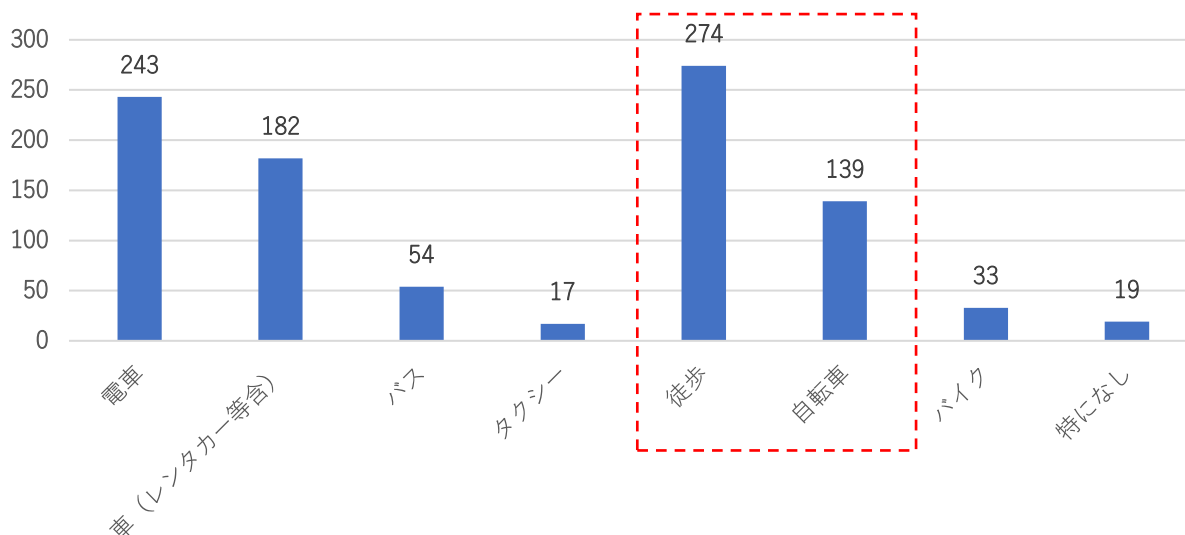
で移動する人が増えたように思います。歩くことや自転車で長時間移動することは、健康にも良く有酸素運動に効果があると言われていています。在宅時間が増えたことで皮肉にも、多くの方が健康志向に意識が傾いてきているのではないのでしょうか？」(株式会社 Cycle 代表、飯田航コメント)

■新しい「移動」の生活様式。「徒歩」と「自転車」の移動が増える傾向にあり

また 600 人に対して「今年の春以降、移動としてこれから増えるだろうと感じるものは何か」という質問をしたところ、増えそう 1 位が「徒歩」で 45.7% (274 人)、2 位が「電車」で 40.5% (243 人)、3 位が「車 (レンタカー等含)」で 30.3% (182 人)、そして 4 位が「自転車」で 23.2% (139 人) という結果となりました。一都三県、3 月中にも緊急事態宣言が解除される可能性がある中で、今までの交通手段であった電車や車による移動が増えると想定されますが、その中でも引き続き「徒歩」が 1 位となり、その 2 つを除くと「自転車」の移動も 2 割以上が増えると回答となりました。テレワークと同様に、新しい生活様式としての移動に、今後「徒歩」「自転車」の 2 つが選択されていくと想定します。

今年の春以降、移動としてこれから増えるだろうと感じるもの

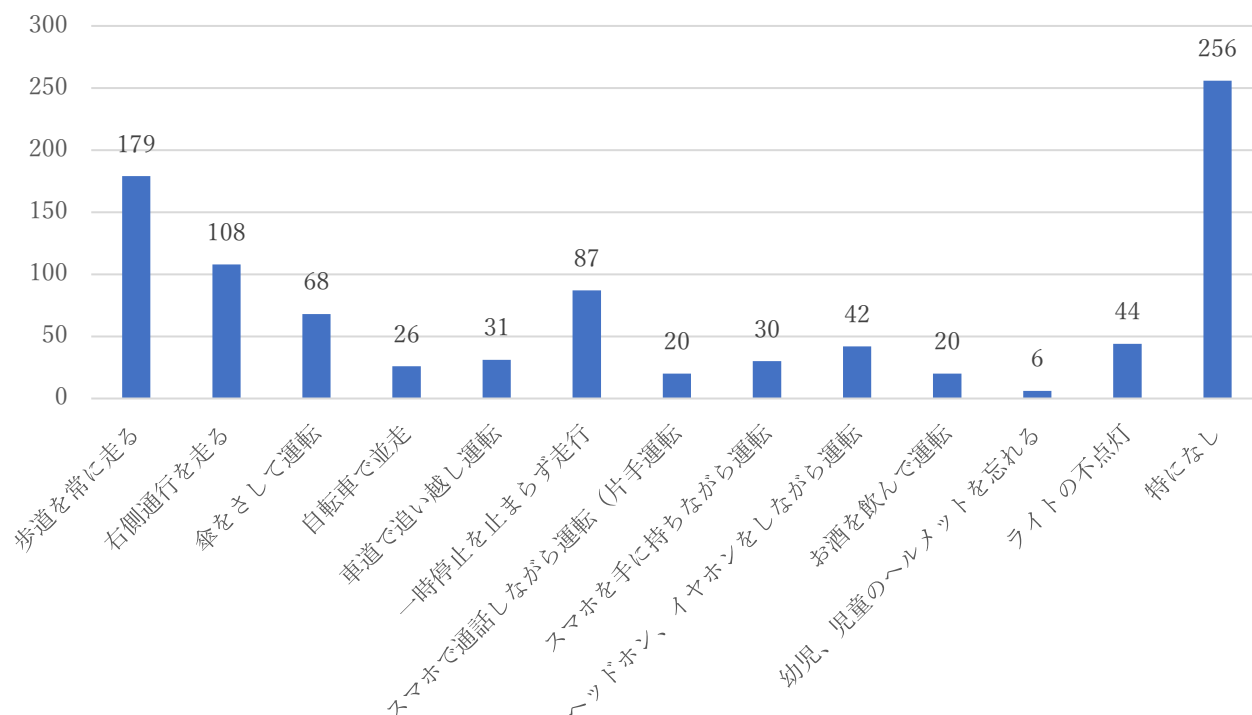
N = 600



■自転車利用者の 56%は交通ルールを守っていない傾向

このような移動手段が変化していく中で、コロナ禍による宅配、デリバリー需要の急増に伴い、自転車と車、自転車と歩行者との事故が増えているようです。そこで、続けて自転車に関する交通ルールの意識調査を行いました。自転車を持っていない人を省いた 584 人に対して、「交通ツールの項目に対して、自転車に乗っている時についやってしまう事にあてはまるもの」について質問したところ、「特になし」と回答したのが 44% (256 人) となり、1 つでも項目に当てはまる回答をした方は 56% (328 人) という結果となりました。「特になし」を除く、ついやってしまう事 1 位は「歩道を常に走る」で 179 人、2 位は「右側通行を走る」で 108 人、3 位は「一時停止を止まらずに走行」で 87 人という結果となりました。新しい移動の手段として、「徒歩」や「自転車」が今後も増えると予想される中で、自転車に限っては、実に 6 割近くの方が交通ルールを守ってなく、消費者は引き続き交通ルールを理解し、事故にならないように注意する必要があります。

自転車に乗っている時についやってしまう事(N=584)



■宅配・デリバリーで目立つ「ながらスマホ」の改善へ。

50%の方がスマホスタンドの必要性があると回答。

仕事の邪魔にならないコンパクトなスマホスタンド「Loop Mount」が人気

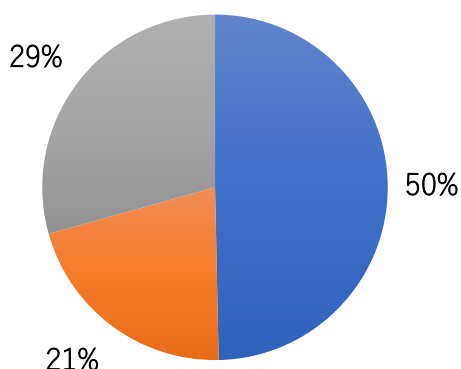
コロナ禍でデリバリーが主流となり、宅配する自転車の数も増えています。残念ながら事故やトラブルのニュースが増えてきたのも事実です。デリバリー業界では移動手段として地図検索できるスマホが必須アイテムであり「ながらスマホ」は非常に危険です。

「デリバリーによる自転車が増えています。自転車の交通ルールを守らない人も多いのが実態です。今後は、各自一人ひとりが交通ルールを守って行動をしないと、今後は大きな事故を招きかねません。Cycleが取り扱うスマホスタンド「Loop Mount (ループマウント)」も、このようなデリバリー需要と重なって生まれた商品のひとつです。今回のアンケートでは、弊社のようなスマホスタンドは宅配・デリバリー業界で必要か、という質問に対して、「はい、思います」と答えた方が50% (298人) おり、「いいえ、思いません」と答えた方が21% (126人)、「どちらでもない」と回答した方が29% (176人) という結果となりました。約半数が、宅配・デリバリーの自転車移動で「ながらスマホ」が気になっていた証拠でもあります」(株式会社Cycle代表、飯田 航)

Cycleが取り扱う自転車用スマホスタンド「Loop Mount」は、無駄のない工業デザインによる、自転車のフレームに巻き付けるような形状をしており、全く邪魔にならずコンパクトで、素材もすべてメタルで設計していることでサビない点が特徴です。大型のオフロードバイクからベビーカーのような細いものまで、幅広いフレームサイズまで接続が可能で、あらゆる環境下でのスマホ落下テストを実施したところ、200時間利用を続けても落下しないという結果となりました。「Google、Honda、IBMなどの大手ブランド向けの製品の設計と製造に携わってきた工業デザイナーが作っています。安全性において

は最善を尽くしており、無駄のない使いやすいデザインが消費者に評価されています。宅配・デリバリーでは沢山の荷物を運ぶため、ハンドル周りもすっきりしたほうが良いかと思います。「Loop Mount」はサビず、そして手のひらサイズ。嵩張らないのでデリバリーの仕事の邪魔にはならないでしょう」(株式会社 Cycle 代表、飯田 航)

デリバリーや宅配でスマホスタンドのような器具はこの業界に必要と思いますか？



■ はい、思います。 ■ いいえ、思いません。 ■ どちらでもない。

■ 「Loop Mount」販売開始約2週間で400万円超え

自転車用スマホスタンド「Loop Mount」は、2021年2月26日(金)17時よりクラウドファンディングを開始、開始3日で250万円の売り上げ、3月15日現在で440万円(購入者:543名)を達成しています。春から移動が多くなる季節です。継続的な移動手段として自転車の需要が今後も続くと思われます。Cycleは、宅配・デリバリー業界に向けた販促活動、また自動車関連グッズの販売を強化しながら、クラウドファンディング終了後、夏以降から一般販売を開始、インターネットや量販店にて2021年冬までに5,000個の販売を計画しています。



「Loop Mount (ループマウント)」クラウドファンディング専用サイト:

<https://greenfunding.jp/piucrowdfunding/projects/4550>

■スマホ用マウント「Loop Mount (ループマウント)」商品概要

**特徴①：取り付けが簡単です**

「スマホの補助具は四つ角を調整したり接続が面倒」、そういった声が多数ありました。Loop Mount はスマホを一瞬で取付け、および取り外しも一瞬です。また装着部分はゴムでできているので、スマホを傷つける心配もございません。

特徴②：圧倒的にコンパクトでスタイリッシュ

「自転車用スマホホルダーは大きくかさばる」そんな声が多数ありました。Loop Mount はサイズも 50 ミリと小さく圧倒的にコンパクト。そのため自転車の邪魔をしません。

特徴③：デザイン性・精巧な作り

Loop Mount は CNC テクノロジーを駆使しているため、精巧な作りです。素材はメタルを使用。伸縮部分は工業用スプリングを使用することで高級感、およびスマホの固定を安定させます。

特徴④：様々なハンドルサイズ、スマホに対応

自転車はもちろんのこと、円周 22.2 ミリメートルから 31.8 ミリメートルのバーサイズまで対応。スクーターバイクやベビーカーにも取り付け可能です。iPhone の 12 シリーズの大型はもちろん、各種 Android にも対応しています。

特徴⑤：約 200 時間のテストを実施

Loop Mount は様々な部品によるテストを実施。その中で最適な部品を選定しております。また、様々な路面で 200 時間におよぶテストを実施して落下しないことを確認済みです。

定価：7,890 円税別

バーサイズ：円周 22.2 ミリメートルから 31.8 ミリメートルまで対応

スマホサイズ：80 ミリメートルまで対応可能 (iPhone12Pro も対応)

重量：120 グラム

直径：50 ミリメートル

素材：メタル

カラー：ブラック、シルバー

付属品：Loop Mount 本体、スモール shim、ミディアム shim、ラージ shim、Allen Key

※shim はハンドルのサイズに応じて最もフィットするものをご使用ください。

■株式会社 Cycle について

企業名：株式会社 Cycle（旧：A-Trade 合同会社）

令和 3 年 3 月 1 日より株式化、社名変更

所在地：東京都豊島区西池袋 4 - 2 8 - 1 3 パークサイド西池 1 0 2

設立：平成 29 年 3 月 1 日

代表：飯田 航

資本金：1,000,000 円

事業内容：海外スポーツ・健康・アート・環境関連用品の日本国内販売、日本国内における各種マーケティングの提案、および実施、各種スポーツ関連イベント開催、海外 EC 関連事業 など

以上